

## 英作文：助動詞

助動詞を活用して表現に幅をもたせる

### 到達目標

この回では、英作文を書く上で、助動詞を用いる時の注意点や、一見助動詞を使えなさそうな日本語に対して助動詞を適用する際のポイントなどをチェックして、実践的で正しい助動詞の使い方を習得しよう。意味上はほぼ同じ内容を表せる場合でも、文脈上一方は適切で一方は不適切ということがあるのも、主観的な使い方をすることがままある、助動詞の大きな特徴である。今回は、下記の3つのポイントについて学習する。

- ①助動詞と過去
- ②助動詞を使うための解釈
- ③助動詞 need の注意点

**GOAL** 助動詞のつまずきポイントを把握し、正しく助動詞を使いこなせるようになる！

## 1 助動詞と過去

 5分

助動詞を使って過去のことを表す際には、単純に助動詞の過去形を使えばOK、と考えていてはいけない。もちろんそれでよい場合もあるが、例えば、must のように過去形のない助動詞があるし、また、should のように shall の「過去形」でありながら、もっぱら現在の意味を表す助動詞もある。さらに、「推量」の may の過去形 might にいたっては、過去の意味を表すことはなく、控えめな「推量」を表すだけである。

そこで、例えば過去における「推量」の意味を表すためには、「助動詞 + have + 過去分詞」の形を用いる必要がある。また、「…すべきだった」のように、「**実際には過去に逆のことが起きたが、本当はこちらがよかった**」という意味合いを表したい時にも、この形を用いると便利である。助動詞の過去形から検討するよりも、この「助動詞 + have + 過去分詞」から検討した方がうまく訳せる場合が多い。

### Point

《1》過去のことを助動詞で表す時には、まず「助動詞 + have + 過去分詞」を検討する。

### 例題

次の日本語の意味を表すように、下線部に適切な英語を書け。

(1) 僕はさぞぐっすり眠っていたに違いない。昨夜の地震も感じなかったからね。

I \_\_\_\_\_ deeply, for I didn't feel the earthquake last night.

(2) 列車の方がバスよりも速いし安かったんだよ。君も列車に乗るべきだったのに。

The train was faster and cheaper than the bus. You \_\_\_\_\_ the train, too.

### 解説

- (1) 「…していたに違いない」は、must を使って表せる「推量」の意味合いだが、過去の内容であるので、「must have 過去分詞」の形にする。「…していた」はある時点で継続していた動作なので、進行形で表す。
- (2) 「君も列車に乗るべきだった」という表現から、「君も列車に乗るべきである」という should で表せる内容を、過去のこととして表現する。ここには「君」は実際には列車ではなくバスに

乗った, という含意があるので, その内容を表すには ‘should have 過去分詞’ の形にすればよい。

### 解答

- (1) I **must have been sleeping** deeply, for I didn't feel the earthquake last night.  
 (2) The train was faster and cheaper than the bus. You **should have taken** the train, too.

## 2 助動詞を使うための解釈

 5分

日本文によっては, 一見助動詞を適用できそうもない表現であっても, その意味内容をよく考えれば, 助動詞を使った表現にすれば十分にその意味を表せる場合も多い。特に, **日本文の書き手の人物の主張や意見**が表れているところで, うまくいくことが多い。ただし, 助動詞を使う際には, 語単体の意味だけではなく文全体の意味も含めて検討し, 的確なものを使うようにしたい。

### Point

- 《2》日本文の書き手の主張や意見を表現する時は, 助動詞の活用を検討するとよい。  
 《3》助動詞の検討の際は, 語と文の両方の意味で的確なものを吟味する。

### 例題

次の日本文の意味を表すように, 下線部に適切な英語を書け。

- (3) 私たちは急速な科学技術の進歩に驚くほかない。

We cannot \_\_\_\_\_ at the rapid progress of technology.

- (4) 「新宿へ早く行くにはどうするのが一番よいでしょうか。」「地下鉄にお乗りになった方がよいでしょう。」

“Which is the quickest way to get to Shinjuku?” “I think you \_\_\_\_\_.”

### 解説

- (3) 「驚くほかない」という部分は, 日本文の書き手の意見が表れていると言えるので, 助動詞の活用を検討できる。実際, ここでは cannot を使って表現することが要求されているので, その線で考えよう。「驚くほかない」の意味内容を考えると, つまり「驚く以外の選択肢がない＝驚くことは避けられない」ということなので, 慣用表現の cannot help …ing [but …] を使って表現することができる。
- (4) 「…した方がよい」という日本語に対して, 反射的に had better … を用いるのはNG。この表現は, 命令的なニュアンスが強い, 断固とした助言の意味合いとなる。should を「…べきだ」という強そうな意味合いで考えると使いにくいかもしれないが, ここでは, 質問の内容や日本文から, 提案レベルの柔らかい助言であるとわかるので, should を用いるのが適切。

### 解答

- (3) We cannot **help being surprised** [but be surprised] at the rapid progress of technology.  
 (4) “Which is the quickest way to get to Shinjuku?” “I think you **should take the subway.**”